

ご列席の皆様、JBC年次総会への御出席、大変ご苦勞様でございます。
初めに、本日議長をされております鈴木会頭；ご多忙を極めます本業の
一方で、この1年、JBCにおいて大きな責務ある役割を担われました。
心より敬意と慰勞の意を表します。そして理事会役員の皆様、それぞ
れ御社のお忙しい業務の中で、大きな御貢献をなされましたことに、衷
心より慰勞と称賛の意を表します。また、総会開催の準備、運営取り仕
切りました安藤事務局長を初め事務局員の皆様、大変お疲れ様でした。

さて、今、誰と話をしても、話題に上るのが、コロナです。日本では、
イベント・行事が中止に、学校が休講となっています。日本への渡航、
日本からの渡航に対しても、様々な制限、注意喚起がなされています。
当地においても、当局から教育機関に対し、日本からの渡航者との接触
に関する、非常に厳しい、お達しが発出されています。皆様の会社も
様々なご苦勞があるかと思えます。そのような中での年次総会の成功裏
な開催とご出席は、ご苦勞がいかほどであったかと思っています。

さて、コロナの話題の一つが、大型客船ダイヤモンド・プリンセス号で
の感染、そして日本の対応でした。多くの記事については、心穏やかに
は読んでおれません。本日まで出席の海運業界の方々はよくご存知のよう
に、船内・船上では、基本的に船籍国が第一義的な「責任」を有してい
ます。少なくとも寄港国である日本は、日本の港であっても、「権限」
はあっても、第一義的な「責任」を有しているわけではありません。し
かもコロナ感染が起こったのは、日本寄港前です。そこで、責任を有する
船籍国はどこか。ご案内のようにイギリスです。そしてあるうことか口

ンドン市長選の候補者が、コロナのために東京オリンピックが中止となった際の代替地としてロンドンを提案しています。オリンピックを引っ張ってくる前に、すべきことがあるでしょう。

でも、日本は謙虚なので文句を公言しない。これほど謙虚な国は世界には無いでしょう。一方、謙虚な我々は肩身の狭い思いをします。だからこそ、日経ビジネス・コミュニティが情報を共有し、協力する場を持つことが不可欠です。そして、このJBCがその唯一の場です。この大事なJBCに対し、総領事館としても出来る限りの支援を惜しみません。

最後に明るい話を二つ。先般、事務局のお力を借りまして、フジャイラ皇太子が所有するフジャイラ・ホールディングス社主催の日本人ビジネス・コミュニティを招待するビジネス・ツアーを、案内させて頂きました。ツアー実施日は4月21日です。皇太子がお出ましになるか否かは、まだ分かりませんが、昼食会も催される1日のツアーです。皆様のご出席、一社から複数名でも歓迎し、お越しをお待ちしています。

それから、4月13日に、ドバイのリゾート・アイコンの一つ、人工島ザ・ワールドへの視察イベントを企画しています。まずは、関連業界の方々にのみご案内しておりましたが、これまでご応募が芳しく有りません。通常は目にすることさえ出来ない超豪華リゾートです。「スウェーデン・パレス」の中での昼食会もあります。世界最高のセレブの雰囲気味わうことにご興味のある方は、私までご連絡ください。それでは、ご列席の皆様のご健勝と成功を祈って、私の挨拶とさせていただきます。